

令和 5 年度 第 2 回 学校運営協議会記録

		学校名	払戸小学校
開催日時	7月4日(火) 10時30分～12時10分		
出席者	会長：鈴木 誠孝 委員：三浦 金悦 戸部 正行 鈴木 昭博 山田 真由美 船木 直子 海道 利夫 伊藤 睦子 校長：小玉 和彦 教頭：清水 琢		
授業参観	※会次第は別紙「男鹿市立払戸小学校 第2回学校運営協議会」参照。 ※参観授業、及び本校の重点との関わりは別紙「参観授業一覧」参照。		
協議及び 情報交換	○学校経営の重点に対する取組（5月と6月） ※別紙「令和5年度 学校経営の重点に対する取組（5月と6月）」参照。 ○各委員から（要旨抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに考えさせる授業だった。 ・少子化で一人一人に目が届く。子どもにとっては幸せなこと。 ・子どもと教師の距離感が近く、隔たりがない。子どもが窮屈そうにしていたり、萎縮したりしていない。 ・いじめはやはり心配。様々な活動や体験を支えていきたい。 ・机やロッカーが綺麗に整頓されていて驚いた。自分たちの時代とは違う。 ・子どもがICTを普通に使いこなしていた。国が力を入れていることが本校でも行われて、施策と現場のつながりをこの目で直接見ることができた。 ・学校の教育活動がはっきり見える。これまでより明らかに進んでいる感じが伝わってくる。 ・校歌の歌詞を考える授業に感銘を受けた。統合になっても心に残っていく。 ・少人数のメリットを生かして、一人一人を大切にしている。 ・参観を通して、1年生から6年生までの成長が目に見えた。自分の子どもの成長過程を思い出した。 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・150周年でタイムカプセルを掘り出す予定だった学年がある。旧校舎二宮金次郎像の下。掘り出し予定年は既に閉校後なので、対応を確認しておく。 		